

# モニタリング結果報告書 (令和4年度)

## 1. 施設概要

施設名	観音崎公園		
所在地	横須賀市走水2丁目・鴨居3丁目・4丁目		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/kannonzaki/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的（設置時期）	公共の福祉の増進（昭和50年4月）		
指定管理者名	神奈川県公園協会・京急サービス共同事業体		
指定期間	R4.4.1～R9.3.31 (2022年) (2027年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課 (横須賀土木事務所)

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価（利用状況、利用者満足度、収支状況）に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p> <p>利用状況がB評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がA評価となったため、3項目評価はA評価となった。利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による一部イベントの中止や縮小のため、目標を達成できなかった。しかしながら、利用者の満足度は、問合せ等にも丁寧に対応し、円滑な公園利用を案内したことにより、極めて良好だった。また、収支状況についても、利用促進費に替えて、植物管理費を増やす工夫があり、良好であった。今後も、公園の自然環境に配慮した植物管理、自然と歴史資源を活かした利用促進の取組及び地域やボランティアと連携した公園づくりの継続した取組が望まれる。</p>
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 観音崎公園の貴重な自然や歴史的遺産を活かした公園づくりの実現に向けて、提案に沿った取組を行いながら管理運営にあたっている。 維持管理に関しては、地元ボランティアなどと協力し、希少植物の保護、施設補修などの取組が行われている。 利用促進に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止もあったが、感染対策を講じ規模を縮小しながら、実現可能なイベントを順次開催していった。 周辺施設との連携に関しては、観音崎公園連絡協議会を開催し、Park-PFI事業者等と意見交換、連携する場を設ける取組が継続して行われている。</p> <p>◆利用状況 新型コロナウイルス感染症の影響は少なくなり、公園利用者数は対前年度比で101.2%であったが、目標達成率で86.5%に留まったため、B評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者満足度調査の結果、上位2段階の回答割合が97.0%であったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 概ね計画通りの支出状況であり、収支比率が約104.1%となったため、A評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 公園利用者からの問合せ・要望にも、丁寧な対応が行われている。</p> <p>◆事故・不祥事等 なし</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なお、令和4年度の3項目評価については、A評価とした。</p>

## 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況	利用者の満足度	収支状況	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。  S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
	(項目6参照)	(項目7参照)	(項目8参照)	
A	B	S	A	

#### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	2カ月に1回程度	「月例報告の確認」に併せて適宜現地に赴き、施設の管理運営状況の実態を確認。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	一年に1回	県と指定管理者との間で連絡協議会を開催し、施設の管理運営上の課題等について、意見交換や情報共有等を行った。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

#### 5. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
植物管理にあたっては、各植物の特性及び生態系に配慮した維持管理を行う。また、美しい眺望による景観づくりに取り組むとともに、巨木化や過密化が課題となっている樹林地の安全確保を図る。	日常管理に加え、展望広場の支障木の剪定・伐採を行い、眺望を確保した。また、住宅との隣接部の樹林地の支障木の剪定・伐採を継続して行い、来園者や近隣住民への事故を未然に防いだ。	概ね計画に沿った実績があった。今後は巡視や樹木診断等による樹林地の安全確保について、一層の取組が望まれる。
法定点検は法令に基づいて実施することとする。また、来園者の安全を確保するため、保守点検は、日常点検、定期点検及び臨時点検を行う。なお、点検時に異常を発見した場合は、速やかに修繕等の必要な対応を行う。	日常点検、定期点検に加え、臨時点検にて照明の不点灯を発見し、順次、照明灯の修繕を行った。また、大雨警報発令時には夜間待機やパトロールを実施して安全を確認した。	計画に沿った実績があった。今後も継続的な取組が望まれる。
利用促進において、公園の自然や歴史等の魅力を活用した多彩なプログラムを展開する。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために縮小していた利用促進も順次再開し、公園の自然・歴史を学ぶガイドツアー等が実施され、参加者から好評だった。	計画に沿った実績があった。今後も継続的な取組が望まれる。
日中の管理員による巡視に加えて、パークセンター・森のロッジ・ボランティアステーションに機械警備を実施することで、常に事故等の未然防止に取り組む。	通常の管理に加え、ゴールデンウィークや夏期に巡回警備を実施して、事故防止に努めた。	計画に沿った実績があった。今後も継続的な取組が望まれる。
大規模震災を見据えて、利用者周知の方法の充実や、避難ルートの検討・訓練を実施する。また、利用者、地域の自治会や近隣施設と協働して防災訓練等の実施する。	利用者周知のため放送機器の日常点検や避難場所・ルートの掲示を行った。また、園路が封鎖された場合を想定した避難ルートを検討した。なお、利用者等と共同で行う防災訓練は未実施。	検討した避難ルートにおける避難訓練について、今後の実施が望まれる。また、イベント等により構築した関係者間での連携を活かして、今後、協働の防災訓練等の実施が望まれる。

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
三浦半島の横須賀で採れる肉・魚・野菜などの地元食材等を提供するカフェ食堂レストランを営業する。	食品衛生責任者を設置し、食品衛生上の管理運営を徹底した。

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

## 6. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特徴から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	658,352	719,700	728,456
対前年度比		109.3%	101.2%
目標値	850,000	850,000	842,000
目標達成率	77.5%	84.7%	86.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

### 【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照



## 8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	95,959	0	35,407	駐車場： 30,595 自販機： 4,812	131,366	131,366	0	
	決算	98,329	0	32,952	駐車場： 29,326 自販機： 3,626	131,281	130,277	1,004	100.77%
前年度	当初予算	94,678	0	29,338	駐車場： 25,649 自販機： 3,689	124,016	124,016	0	
	決算	97,408	0	33,886	駐車場： 29,645 自販機： 4,241	131,294	129,307	1,987	101.54%
令和4年度	当初予算	98,336	0	29,938	駐車場： 26,941 自販機： 2,997	128,274	128,274	0	
	決算	98,336	0	34,751	駐車場： 32,497 自販機： 2,254	133,087	127,791	5,296	104.14%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和4年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

### 【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

- ①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照
- ②令和4年度の対応状況  
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	電話	1 件	機械式駐車場で障がい者減免方法に戸惑った。ゲート設置電話で問合せしたが、対応者の対応が悪かった。	駐車場管理会社に対し、コールセンターでの対応改善を依頼した。また、精算機付近に減免方法の案内を掲示した。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。